

各 位

(一斉メールでもご案内しております)

中 部 経 済 同 友 会

代 表 幹 事 加 藤 博

代 表 幹 事 永 井 淳

代 表 幹 事 村 上 晃 彦

交 流 委 員 長 西 脇 正 導

(一社)神 戸 経 済 同 友 会

代 表 幹 事 神 原 忠 明

代 表 幹 事 高 梨 柳 太 郎

交 流 委 員 長 渡 辺 真 二

第 29 回 中部・神戸経済同友会 合同懇談会のご案内

平素は、本会運営ならびに活動につきまして格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本会および(一社)神戸経済同友会では、かねてより隔年で合同懇談会を開催しており、第 29 回目となる本年は、下記のとおり開催いたします。

当日は、神原代表幹事、高梨代表幹事をはじめとする神戸経済同友会の皆様が来名され、新東工業(株)豊川製作所、ノリタケの森の視察を予定しております。

なお、本件につきましては、交流委員会委員および幹事以上の役員の皆様にご案内させていただいております。

皆様方におかれましてはご多用のことと存じますが、中部・神戸経済同友会の一層の交流と親睦を深めていただく趣意からも、ご参加を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

記

1. 開 催 日 時 : 2025 年 12 月 4 日 (木) 9 : 45 ~ 19 : 30
(※詳細スケジュールは別紙をご参照ください)
2. 集 合 場 所 : JR 豊橋駅 改札口 (9 : 45 集合)
3. 視 察 先 : (1) 豊川稲荷
(住所 : 愛知県豊川市豊川町 1)
(2) 新東工業(株)豊川製作所
(住所 : 愛知県豊川市穂ノ原三丁目 1 番)
(3) ノリタケの森
(住所 : 愛知県名古屋市区則武新町 3-1-36)
4. 参 加 費 : 20,000 円内外 (後日、ご請求させていただきます)
5. 定 員 : 20 名 (中部・神戸と合わせて約 40 名を予定)
※定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。
6. ご出欠について : ・ご参加をご希望される方は、10 月 31 日 (金) までに
「会員専用ページ」よりご登録をお願いいたします。
・なお、11 月 27 日 (木) までにご連絡なくご欠席の場合は
参加費を申し受けますので何卒ご了承ください。

中部経済同友会
会員専用ページ



7. 本件問合わせ先 : 中部経済同友会事務局 担当 : 田中・廣瀬・菱川

Tel : 052-221-8901 / Fax : 052-221-8925

以 上

中部・神戸経済同友会 合同懇談会 スケジュール案

(2025.9.16 時点)

※交通事情等により予定時間が前後することがございますが、ご容赦願います。

日 程	時刻	内 容
12 月 4 日(木)	午前	09:45 集合 【中部】【神戸】JR 豊橋駅 改札口 10:00 出発 (JR 東海バスにて移動) 所要：40 分 10:40 豊川稲荷 (※1) 視察 ・10:40～11:30 視察 移動(15 分) 11:45 新東工業(株) 新東クラブ (愛知県豊川市諏訪3丁目 121) ・11:45～12:35 ご挨拶/ご昼食 ・12:35～12:50 新東工業のご紹介 移動 (10 分)
	午後	13:00 新東工業(株) 豊川製作所 (※2) (愛知県豊川市穂ノ原三丁目 1 番) 13:00～14:10 視察 14:10 新東工業(株) 豊川製作所 出発 所要：1 時間 20 分 15:30 リタケの森 (※3) 到着 (愛知県名古屋市西区則武新町 3-1-36) ・15:30～17:30 ウェルカムセンター・クラフトセンター・ ミュージアム、お買い物 (3 組に分かれて行動) ・17:30～19:00 ご夕食 19:15 リタケの森 出発
	夜	19:30 JR 名古屋駅 広小路口バスのりば 到着後、解散

《参考情報》

12 月 4 日 (木) 新幹線時刻【利用推奨】

【往路】

のぞみ 78 号 新神戸 8:01 発 ⇒名古屋 9:04 着

(名古屋駅で乗り換え)

こだま 708 号 名古屋 9:08 発 ⇒豊橋 9:36 着

【復路】

①のぞみ 57 号 名古屋 19:49 発 ⇒新神戸 20:53 着

②のぞみ 81 号 名古屋 20:10 発 ⇒新神戸 21:14 着

以 上

視察・訪問先のご案内

※ 1 豊川稲荷

日本三大稲荷のひとつに数えられ、商売繁盛のご利益で全国的に知られる「豊川稲荷」。正式名は「妙巖寺」と称し、山号を圓福山とする曹洞宗の寺院です。

一般的に「稲荷」と呼ばれる場合は、「狐を祀った神社」を想像される方が多数であると思われますが、お祀りされているのは鎮守『豊川吒枳尼真天』です。豊川吒枳尼真天が稲穂を荷い、白い狐に跨っていることから、いつしか「豊川稲荷」が通称として広まり、現在に至っています。

約 580 年前の室町時代(1441 年)に創建されて以来、織田信長公、豊臣秀吉公、徳川家康公などの武将や、渡辺崋山など文人たちからの信仰を集めてきました。豊川稲荷は江戸時代には庶民の間で商売繁盛や家内安全、福德開運の善神として全国に信仰が広がり、現在も年間およそ 500 万人もの参拝客が訪れます。

※ 2 新東工業株式会社 豊川製作所

新東工業グループは、昭和 9 年（1934 年）の創業以来、“ものづくりの心を大切にして社会に貢献したい”という思いのもと、世界に通用する技術を追求することで発展してきました。

世界トップクラスの鑄造設備事業に加え、表面処理事業といった強固な事業基盤を核に、環境事業やメカトロ事業などの事業を派生させ、自動車・航空機・鉄鋼・電気電子・インフラなどの幅広い業界のものづくりを支え、発展させています。近年では、ロボットや力覚センサなどの自動化への貢献、IoT 事業におけるデジタル化への貢献、自動車、EV 分野で貢献するさまざまな製品の開発など、時代の変化に対応した事業を開発し展開しています。



マザー工場である豊川製作所は、創業からのコア事業である鑄造事業を中心に各種製品事業部や管理部門などが置かれています。当日は、国産第一号造型機（C-11 型/機械遺産）のほか、新東工業の要素技術を体感いただけるショールームなどをご見学いただけます。

※ 3 リタケの森

明治 37 年（1904 年）に創業した日本陶器合名会社（現・リタケ）の本社工場跡地に、2001 年に誕生した「リタケの森」は、名古屋の中心に広がる緑豊かな複合施設です。赤レンガの歴史的建造物を活かし、ミュージアム、ギャラリー、レストラン、ショップなどが点在し、訪れる人々に“ものづくりの心”と“文化の香り”を届けています。

約 22,000 m²の緑地には 6,000 本以上の樹木が植えられ、野鳥や昆虫が生息するビオトープも整備。都市の中に自然を創出する取り組みは、環境への配慮と SDGs の理念にも通じています。また、災害時には帰宅困難者の一時避難場所として開放するなど、地域社会への貢献も果たしています。



陶芸や絵画などの芸術活動の舞台としても親しまれ、市民の美術展や音楽イベントなどを通じて、文化の発信地としての役割も担っています。効率や利便性だけを追わず、歴史と自然、そして人の営みを大切にする姿勢は、まさに“都市の中の心の森”として、次世代へと豊かな価値をつないでいます。当日は、ウェルカムセンターおよびクラフトセンターをご見学いただき、リタケの森の魅力を体感していただけます。

ご見学後は、敷地内のレストラン「キルン」にて夕食懇親会を開催し、交流をお楽しみいただけます。